

受入 No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
571	JOINT SYMP OF ISIJ & AUSTRASIAN INST OF MINING & METALLURGY	TOKYO	83-10-13	ISIJ
579	2ND JAPAN-CHINA SYMP. ON SCIENCE & TECHNOLOGY	TOKYO	83-11-14	ISIJ
586	PREPINT OF 1ST INT'L CONF ON REFRACTORIES	TOKYO	83-11-15	TECHNICAL ASSOCIATION
587	DIRECT USE OF COAL IN IRON & STEELMAKING	LONDON	83-10-19	METALS SOC.

書 評

固体試料分析のためのプラズマ発光法 (日本分光学会測定法シリーズ 2)

村山 精一・高橋 務編

発光分光分析は転炉製鋼の工程管理を初とした各種の管理分析, 材料の研究開発に盛んに利用されているが, 本書はその原理, 手法を平易に解説したものである。この種の書物はややもするといくつかの分析手法の羅列に終わる傾向があるが, 本書は発光部をプラズマとして捉えることによつて, それらを統一的に解釈しようとしており, 発光分光分析をこれから勉強しようとする人にも理解しやすいように配慮されている。ここで取り上げている手法はアーク励起法, スパーク励起法が中心になつており, それにレーザー発光法, グロー放電法が新分析手法として加えられている。それぞれについて励起発光法, 発光部の特性が要領良く述べられている。

これらの励起法とともに, 分光器, 光検出器等の測定機器についても簡潔な説明が加えられている。分光

器の光学系と結像特性, 入射スリットや集光系の使い方など, 実際に発光分光分析を行うにあたって参考になる点が多い。

本書の最大の特徴は, 全体で約 170 頁の小冊子でありながら, その約 1/3 を割いて, アーク, スパーク放電時に認められる主要スペクトル線の波長表, 写真集にあてている点にある。特にスペクトル写真集は, 従来の出版物では含まれていない真空紫外領域 (150~200 nm) を新たに加えたもので, この分析法の研究者にとって良いハンドブックとなろう。

(角山浩三)

A 5 判・168 ページ定価 3,000 円

昭和 57 年 10 月

(株)学会出版センター発行